

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

| No. | 事業の名称 | 事業の内容 | 交付金を 充当する経費 | 事業 始期 | 事業 終期 | R3 決算額 | | 効 果 |
|-----|----------------------------|---|--|----------|----------|--|-------------|--|
| | | | | | | R3 決算額 | 交付金 充当額 | |
| 1 | 在宅勤務等備品整備事業① | 在宅勤務及びWeb会議等が可能な体制を整備するため必要となる機器等を購入する。 | 在宅勤務用ノートパソコン、Web会議用大型ディスプレイ機器等購入費 | R3.6.29 | R3.7.12 | 1,497,100 | 1,490,000 | 在宅勤務用のノートパソコン10台、WEB会議用機器(ディスプレイ、パソコン、スピーカー等)を活用することで、出勤や出張を伴わない勤務体系が構築でき、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ることができた。 |
| 2 | 在宅勤務等備品整備事業② | 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、職員の在宅勤務及びオンラインでのリモート会議等を実施していることから、それらに必要な備品等を購入する。 | 在宅勤務用ノートパソコン、ディスプレイ購入費 | R4.2.5 | R4.2.5 | 186,040 | 180,000 | 在宅勤務等備品整備事業①とあわせ、在宅勤務用のノートパソコン1台、WEB会議用機器(ディスプレイ1台)を活用することで、執務スペースでの密回避及び出勤や出張を伴わない勤務体系が構築でき、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ることができた。 |
| 3 | 新型コロナウイルス感染症対策備品購入費(災害用備蓄) | 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営に必要な備品を整備する。 | 避難所運営に必要な備品購入費 | R3.4.9 | R3.11.8 | 4,876,322 | 2,430,000 | 備品等を整備することで、今後の避難所等における新型コロナウイルス感染症の拡大防止が図られる。 ○整備物品 感染症防護衣セット、飛沫感染症防止間仕切り、感染症対応エアーマット、消毒液、非接触型体温計、屋外テント、シューズカバー等 |
| 4 | 農村地域光回線網整備事業 ※R2繰越事業 | 農村地域に光回線網を整備することで情報通信格差解消、情報通信技術を活用した農業生産力の強化を図る。 | 光回線の整備に要する経費等 (民設民営事業のため、事業者であるNTTに対して負担金を支出) | R2.9.23 | R4.3.31 | 568,743,000 | 479,522,000 | 令和4年3月に整備工事が完了し、令和4年度から町内全域で光回線サービスが利用できる環境が整備された。光回線網の整備により農村地域の情報通信環境が向上し、ICT/IOTの利活用が促進された。 ○光ファイバー整備率(世帯カバー率) R1:94.5%→R3:100% |
| 5 | 新型コロナウイルス感染症対応従事者等慰労金 | クラスターが発生した施設において、その対応に当たる職人に対して慰労金を給付し、医療施設及び福祉施設の職員の苦痛を慰労するとともに感謝の意を表す。 | 医療施設及び福祉施設職員に対する慰労金 | R3.9.22 | R3.10.5 | 1,770,000 | 1,770,000 | 心身に相当の負担がかかる医療・福祉施設職員の慰労を図ることができた。 給付人数 59人(1事業所) |
| 6 | 木野北保育園保育室手洗い場整備事業 | 感染症拡大防止のため、保育園の2歳児保育室に手洗い場を新設する。 | 木野北保育園手洗い台設置工事費 | R3.5.28 | R3.7.30 | 913,000 | 910,000 | 木野北保育園に手洗い場を設置することにより、積極的な手洗いが可能となり、感染リスクの低減が図られた。 |
| 7 | 子ども・子育て支援交付金 | 学童保育所等において新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、継続的に事業を提供していくため、職員の感染対策への支援や、マスク、消毒液などの購入費用に対して補助する。 | 職員の感染対策への支援や、マスク、消毒液などの購入費用に対して補助する。 | R3.8.13 | R4.3.31 | 6,300,000 (うち交付金対象事業費 1,500,000) | 500,000 | 新型コロナウイルス感染症対策に係る経費を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が図れた。 給付件数 保育所3件、認定こども園4件、小規模保育所10件、学童8件、支援センター4件、一時保育所2件、病児保育所3件 |
| 8 | 保育対策事業費補助金 | 保育所等において新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、継続的に事業を提供していくため、職員の感染対策への支援や、マスク、消毒液などの購入費用に対して補助する。 | 職員の感染対策への支援や、マスク、消毒液などの購入費用に対して補助する。 | R3.8.13 | R4.3.31 | 6,500,000 (うち交付金対象事業費 2,700,000) | 1,350,000 | 補助額 12,800千円 うち交付金対象分4,200千円 |

| No | 事業の名称 | 事業の内容 | 交付金を 充当する経費 | 事業 始期 | 事業 終期 | R3 決算額 | 効果 | |
|----|----------------------------------|---|---------------------------------|----------|----------|--------------------------------|------------|--|
| | | | | | | | 交付金 充当額 | 効果 |
| 9 | おもちゃライブラリー 事業 | 国の緊急事態宣言が発令されると感染症拡大防止のため子育て支援センター等は休止となる。コロナ禍においても、子育て支援センター等と子育て中の保護者とのつながりや子どもの成長を見守るため、子ども達に玩具を貸出する「おもちゃライブラリー事業」を実施する。 | 子育て支援センター等に対する補助金(玩具購入費) | R3.9.29 | R4.2.3 | 991,245 | 990,000 | おもちゃライブラリー事業の実施により、新型コロナウイルス感染症の影響により、子育て支援センターが休止した場合においても、子ども達のとのつながりを維持できるようになった。 給付施設数 5施設 |
| 10 | 子育て世帯生活支援特別給付金給付 事業 | 国は低所得者の子育て世帯に対して、子育て世帯生活支援特別給付金(一律5万円)を給付している。町としても、感染症対策経費の一部として給付金を給付することにより、子育て世帯の生活の安定を図る。 | 国が実施する子育て世帯生活支援特別給付金の対象者に対する給付金 | R3.7.2 | R4.3.31 | 9,900,000 | 9,900,000 | 低所得者の子育て世帯に対して、給付金を給付することで、子育て世帯の生活の安定に寄与した。 給付人数 990人 |
| 11 | 感染症対策アドバイザー派遣事業 | 新型コロナウイルス感染症のクラスター発生予防及び拡大防止を目的に、感染症認定看護師の養成機関である北海道医療大学と連携し、感染症対策に関する講演会や町内関係機関、施設への現地指導のため、専任職員をアドバイザーとして派遣する。 | アドバイザーの派遣委託料 | R3.6.30 | R4.2.22 | 310,000 | 310,000 | 感染症対策アドバイザーによる講義を開催することにより、感染症に対する知識が深まり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与した。 派遣回数(主にリモートによる講義) 9回 |
| 12 | マスク着用困難マーク配布事業 | 病気が障がいなどを理由としてマスクの着用が困難な人が、誤解や偏見などにより批判を受けることのないよう、着用困難を表現するアイテムを配布し意思表示をすることで、周囲の理解を促す。 | マスク着用困難アイテムの作成経費 | R4.1.19 | R4.1.31 | 227,425 | 220,000 | 病気が原因でマスクを着けたくても着けられない人がいる。やむを得ない事情でマスクを着けられない人が誤解や偏見により批判を受けることがないよう、マスク着用困難であることを意思表示し周囲の理解を促すものため、マスク着用困難アイテム(啓発用ポスター100枚及びカード、缶バッジ、キーホルダーを各100個等)を作成し、配布した。 令和3年度末で29人にアイテムを配布した。 |
| 13 | 疾病予防対策事業費等補助金 | 健康管理システムで保有する接種情報をデータ標準レイアウトに基づき自治体中間サーバーへ連携する。 | システム改修委託料 | R3.7.16 | R3.7.30 | 547,800 | 50,000 | システム改修により、データ標準レイアウトに基づいた自治体中間サーバーへの連携が可能となった。 |
| 14 | 母子保健衛生費補助金 | 新しい生活様式の中、妊産婦や子育て中の方の不安の解消を図るため、オンラインでの相談、情報提供が可能となるよう無線ネットワーク環境を整える。 | オンライン経費 | R3.4.1 | R4.3.31 | 215,160 ※補助対象分のみ | 100,000 | 無線ネットワーク環境の整備により、オンラインでの相談、情報提供が可能となり、妊産婦や子育て中の方の不安の解消が図られた。 R3オンライン相談件数 5件 |
| 15 | 疾病予防対策事業費等補助 | 健(検)診結果等の情報について、国が定める標準的な様式に対応するためシステムを整備する。 | システム改修委託料 | R3.12.28 | R4.3.31 | 1,341,010 (うち交付金対象額929,000) | 370,000 | システム改修により国が定める標準的な様式に対応できるようになった。 |
| 16 | 令和2年度新型コロナウイルス感染症に係る農業経営維持資金利子補給 | 新型コロナウイルス感染症で影響を受けた農業者が経営再建又は経営維持安定を図るため借り入れた農業経営維持資金の利子相当分を支援する。 | 農業者が借り入れた農業経営維持資金に対する利子補給 | R4.1.19 | R4.1.28 | 477,352 | 470,000 | 農業経営維持資金に対して利子補給することで、農業者の資金繰りに寄与し、経営の安定が図られた。 給付実績 45件 |

| No | 事業の名称 | 事業の内容 | 交付金を 充当する経費 | 事業 始期 | 事業 終期 | R3 決算額 | 効果 | |
|----|----------------|--|--|----------|----------|-------------|-------------|--|
| | | | | | | | 交付金 充当額 | |
| 17 | 道の駅アクリル板購入 | 道の駅おとふけ(R4.4オープン)の飲食・休憩スペース等に設置する飛沫感染対策用アクリルパネルを購入する。 | アクリルパネル購入費 | R4.2.2 | R4.3.24 | 2,241,250 | 2,240,000 | 飛沫感染対策アクリル板250枚を設置することで、道の駅の飲食・休憩スペース等における新型コロナウイルス感染症拡大防止が図られた。 |
| 18 | 道の駅おとふけ感染症対策事業 | 道の駅おとふけでの3密回避及び感染症対策に必要なとなる消耗品及び各種設備を整備する。 | 感染症対策消耗品費、人感センサー設置、自動手指消毒装置設置、ペーパーホルダー設置経費 | R3.6.16 | R4.2.10 | 8,658,212 | 8,650,000 | 感染症消耗品(消毒用スタンド、ペーパーくず入れ、アクリル板15枚)及び機器(人感センサー、自動手指消毒装置、ペーパーホルダー)を道の駅に設置することにより新型コロナウイルス感染症拡大防止が図られた。 |
| 19 | 中小企業者等チャレンジ補助金 | 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた町内の中小企業者等が、事業継続に向けて実施する新たな取組や感染症拡大防止のための取組に係る経費の一部を補助する。 補助金上限300千円、補助率3/4 | ①新規取組支援 新たなサービス等の導入に係る店舗改修工事費、備品購入費、広告宣伝費等 ②感染症予防対策支援 感染症予防対策につながる店舗改修費、機器設置工事費、備品購入費等 ③補助金交付に係る事務費 事務用消耗品、周知用チラシ印刷、新聞折込料、補助申請受付委託料 | R3.5.24 | R4.3.1 | 16,131,530 | 16,130,000 | 事業継続に向けて実施する取組や感染症予防対策に必要な経費の一部を支援することにより、感染症の拡大防止等が図れた。 給付件数 86件 |
| 20 | 新型コロナ離職者等雇用支援金 | ①新型コロナウイルス感染症により雇用情勢が悪化している中、町内事業主の雇用意欲の向上と離職者の早期就職を後押しするため、新たに従業員を雇い入れた事業主に対して支援金を交付する。 [支給額] 300千円/人 | 町内事業者に対する補助金 | R3.8.3 | R3.8.18 | 600,000 | 600,000 | 離職者等を雇い入れた事業者に対して支援金を給付することにより、再雇用の促進につながった。 給付件数1件 2名 |
| 21 | 音更町飲食店等サポート給付金 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少している飲食店等に対して事業継続のため給付金を給付する。 [支給額] 200千円/店舗 | 令和3年5月から9月のいずれかの月の売上高が対前年同月又は前々年同月比で20%以上減少している事業者に対して1店舗当たり20万円を1回限りで支援する。 | R3.10.13 | R4.2.28 | 28,250,046 | 28,250,000 | 売上が減少した飲食店等に支援金を給付することにより、事業継続を支援することができた。給付対象となった事業者に対して実施したアンケートの結果、90%の事業者から「給付金の効果があった」との回答があった。 給付件数 135件(141店舗) |
| 22 | 音更町緊急事態措置協力支援金 | 北海道の緊急事態措置に伴う営業時間短縮等に取り組んだ町内事業者に支援金を給付し、事業者の事業継続を図る。 [支給額] 150千円/店舗 | 北海道が実施する支援金に上乗せする形で、15万円を支援する。 事務費 | R3.10.19 | R4.2.28 | 10,367,433 | 10,360,000 | 支援金の給付により事業者の事業継続が図られた。 給付件数 69件 |
| 23 | 音更町宿泊助成事業補助金 | 新型コロナウイルス感染症の影響により宿泊客が大幅に減少し、経営状況が悪化している宿泊事業者を支援するため、宿泊料の一部を補助する。 宿泊助成金:1泊当たり2,000円～4,000円 | ・音更町十勝川温泉観光協会に対する補助金 ・事務経費 | R3.4.1 | R4.3.31 | 159,724,000 | 159,720,000 | 宿泊助成により、宿泊客が増加し、町内宿泊事業者の事業継続、雇用の維持が図られた。 助成宿泊数 2,000円補助 44,764泊 3,000円補助 6,214泊 4,000円補助 11,981泊 合計 62,959泊 宿泊客減少率 H30(コロナ拡大前)対比 △49% 未実施の場合 △63% 14%の減少を改善 |

| No | 事業の名称 | 事業の内容 | 交付金を 充当する経費 | 事業 始期 | 事業 終期 | R3 決算額 | 交付金 充当額 | 効果 |
|----|----------------------|---|--|----------|----------|--|------------|--|
| | | | | | | | | |
| 24 | 音更町観光振興事業補助金(2次交通支援) | 宿泊者数が大幅に減少している宿泊事業者を支援するため、音更町十勝川温泉観光協会が実施する2次交通対策事業に対して支援する。 | モール温泉号:音更と旭川、札幌を結ぶ送迎バスの運行等に係る経費 | R3.4.1 | R4.3.7 | 26,594,011 (うち交付金対象事業費 21,437,351) | 21,430,000 | 札幌、旭川を結ぶ送迎バスを運行することにより、宿泊客が増加し、事業継続、雇用の維持が図られた。 運行回数 147便(124便) 宿泊実績 8,036泊(4,025泊) ※()は交付金対象分の実績 |
| 25 | 公立学校情報機器整備費補助金 | 学校のICT化を支援するため、ICT技術者を学校に配置する。 | 派遣業務委託料 | R3.5.6 | R4.3.31 | 18,488,800 | 9,240,000 | ICT技術者を各学校に派遣することにより、chromebookの円滑な導入及び教員の端末活用能力向上に寄与した。 派遣箇所 小学校11校、中学校5校 派遣人数 8人 |
| 26 | スクールカウンセラー事業 | コロナ感染症の影響により、不安を抱える児童生徒からの相談件数が増加していることから、スクールカウンセラー業務を委託し、児童生徒の心のケアを図る。 | スクールカウンセラー業務委託料 | R3.10.1 | R4.3.31 | 1,000,005 | 1,000,000 | スクールカウンセラーの派遣により、児童生徒の心のケアが図られた。 |
| 27 | 音更高校支援事業 | 高校の新学習指導要領の実施により令和4年度より入学する生徒から1人1台のパソコン端末を活用した授業が開始される。町がパソコン端末購入し、新一年生に対して貸与する。 | パソコン端末購入経費 | R4.2.22 | R4.3.25 | 4,936,800 | 4,930,000 | パソコン端末120台を購入し、令和4年度音更高校新一年生に貸与した。 本事業により学習のデジタル化が促進されるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休校等に対応したりリモート学習体制の構築が図られた。 |
| 28 | 疾病予防対策事業費等補助 | 健(検)診結果等の情報について、マイナンバー制度を活用し、マイナポータルでの閲覧や市町村間での情報連携を行うことができるようにするために必要なシステム整備を行うことを目的とする。 | システム改修委託料 | R3.12.28 | R4.3.31 | 2,125,090 (うち交付金対象額1,473,000) | 390,000 | システム改修によりマイナポータルでの閲覧や市町村間での情報連携が可能となった。 |
| 29 | 小中学校消毒作業委託 | 小中学校内で、新型コロナウイルス感染者が発生した場合において、校内の消毒作業を行う。 | 校内の消毒委託料 | R4.2.9 | R4.3.31 | 392,238 | 329,000 | 校内の消毒作業により、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が図られた。 消毒件数 延べ小学校12件、中学校7件 |
| 30 | 学生支援事業 | 感染症の影響を受け、収入が大幅に減少し経済的に就学が困難となった児童生徒に対して奨学資金を支給 | 奨学資金及び就学援助費 | R3.5.19 | R4.3.30 | 3,575,183 | 3,570,000 | 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した児童生徒に対して給付金を支給することにより、生活の安定が図られた。 奨学資金 19件 就学援助費 17件 |
| 31 | 文化芸術振興費補助金 | 文化センターにおける感染症対策として、施設内の手摺りの抗菌塗装及び感染症対応備品を購入する。 | 新型コロナウイルス感染症対策に係る備品購入費等 | R3.10.5 | R3.11.29 | 1,185,800 | 480,000 | 施設内の手摺りの抗菌塗装及び感染症対応備品(空間除菌機1台、消毒液噴霧器付き検温器2台)の整備により、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が図られた。 |
| 32 | 公共施設感染症対策事業 | 感染症対策として、公共施設(役場庁舎、地域会館、教育文化施設等)に配置する消毒液等の感染症対策用品を購入する。 | 感染症対策に係る消毒液等の消耗品費、パーテーション、扇風機、非接触式体温計等 | R3.5.13 | R4.3.10 | 407,388 | 400,000 | 感染症対策消耗品等(消毒液、パーテーション、扇風機、非接触式体温計等)を整備し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が図られた。 |

| No | 事業の名称 | 事業の内容 | 交付金を 充当する経費 | 事業 始期 | 事業 終期 | R3 決算額 | 交付金 充当額 | 効 果 |
|-----|--------------------|---|---|----------|----------|-------------|-------------|--|
| | | | | | | | | |
| 33 | 公共施設エアコン等 整備事業 | コロナ禍において、マスク着用が必須となっており、夏場における熱中症が懸念される。熱中症対策として、学童保育所及び小学校保健室にエアコンを整備する。 | 学童保育所及び小学校保健室 エアコン設置費 | R3.5.21 | R3.7.30 | 2,060,843 | 346,000 | エアコンを設置することにより、夏日においてもマスクの着用が可能となり、新型コロナウイルス感染症拡大が防止されるとともに、コロナ禍における熱中症の予防に寄与した。 設置施設 学童保育所3施設、保健室4施設 |
| 34 | 公共施設エアコン等 整備事業 | コロナ禍において、マスク着用が必須となっており、夏場における熱中症が懸念される。熱中症対策として、公共施設にエアコン等を整備する。 | へき地保育所、ふれあい交流館、保健センター、小中学校給食調理員休憩室におけるエアコン設置費用等 | R3.5.14 | R3.7.30 | 3,404,757 | 3,404,000 | エアコンを設置することにより、夏日においてもマスクの着用が可能となり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が図れたほか、コロナ禍における熱中症の予防に寄与した。 設置施設 へき地保育所7施設、ふれあい交流館、給食調理員休憩室3施設、 |
| 35 | 公共施設無線ネットワーク環境整備事業 | 「新しい生活様式」に対応するため公共施設に無線ネットワーク環境を整備する。 | 公共施設無線ネットワーク整備経費 (役場庁舎、改善センター、文化センター、図書館) | R3.6.15 | R4.3.31 | 5,239,245 | 5,230,000 | 無線ネットワーク環境が整備されたことにより、オンラインによる会議や分散勤務が可能となり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が図れた。 整備箇所 役場庁舎、改善センター、文化センター、図書館 |
| 合 計 | | | | | | 900,178,085 | 777,261,000 | |